

東日本大震災

慰霊と復興に向けて

写経のお願い

あなたの祈りを書き写してください

真言宗智山派
総本山智積院

慰霊

祈り

復興



私たちは忘れない
ともに祈りつづけよう

写経「般若心経」の功德

悩みや苦しみに迷う私たち。

心を込めて、仏さまの言葉を一字一字書き写す「写経」を行うと、

私たちの心は、いつしか仏さまの「安らかなる心」になっていきます。

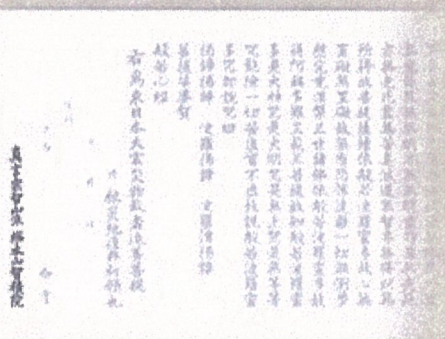
「般若心経」は、お唱えしたり書写したりすることで、苦しみを除き、
樂を与えてくださるお経です。

「般若心経」を「写経」することは、

亡き人々の冥福と今を生きる人々の幸せへの祈りであり、

その功德をすべての者の幸せに回し向ける

尊い仏さまの教え「慈悲行」の実践でもあります。



東日本大震災から二年以上が過ぎましたが、地震・津波、福島第一原子力発電所の事故により被害を受けられた地域の復興再生は遅々として進まず、仮設住宅や避難の地での生活を余儀なくされる多くの方々がいらつしやいます。さらには、お亡くなりになられたご家族のご回向を納得できる形で行うことのできない方々もいらつしやることでしょう。

いま、「私たちは忘れない」とともに祈りつづけよう」の想いを胸に真言宗智山派を挙げての写経運動を引き続き行います。大震災で尊い命を奪われた精霊のご冥福を祈り、今も懸命に生活を送られている被災地の方々とともに復興への祈りを捧げるために、真言宗智山派の全寺院・教会の住職・管理者・檀信徒の皆さま、被災され懸命に生活されている方々とともに、祈りの写経を賜りたくお願い申し上げます。被災をされました地域の一日も早い復興と被害に遭われた方々に、いつか必ず安らかな心が戻ることを、心よりお祈り申し上げます。

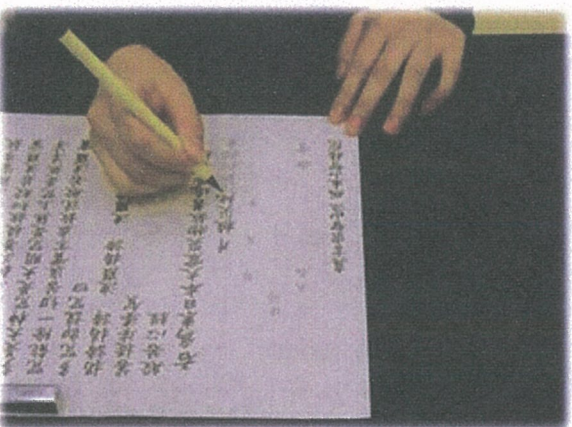
合掌

真言宗智山派宗務総長
総本山智積院寺務長

小宮一雄

写経の仕方

- ① 静かな場所を選び、心を静かに落ち着かせて、合掌をしてから始めます。
- ② 一字一字丁寧に、心を込めて『般若心経』を筆や筆ペンまたはサインペンなどでなぞっていきます。
- ③ 最後に願文をなぞり、書写年月日、住所（都道府県名と市町村名のみ、番地は書かない）と氏名を書きいれます。
- ④ 合掌し、心静かに、震災で亡くなられた精霊の冥福と被災地の復興を祈り終わります。



納経の方法

書写した写経は、納経料（写経一卷につき一、〇〇〇円以上）を添えて、菩提寺へお納めください。

※納経料は災害復興支援事業にあてられます。
※写経用紙は菩提寺にてお受け取りください。

お願い

個人情報秘匿のため、写経用紙の末尾に書く（住所）は、都道府県名と市町村までで構いません。

